

資料 2

福島第一原子力発電所の敷地境界外に影響を 与えるリスク総点検に関わる対応状況

2018年2月6日

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

- 2015年4月、液体及びダストを中心に敷地境界外に影響を与える可能性があるリスクを広く対象としたリスク総点検を実施し、リスク低減対策の取組みは、環境変化等を反映し適宜見直しを行っている。
- 建屋に接続しているトレンチについては、汚染水の漏えいリスクや建屋への水流入リスク、現場状況を勘案し、溜まり水除去・充填の対応を順次実施。2017年12月より1号機海水配管トレンチの充填を開始した。

リスク総点検 管理番号	リスク存在箇所	リスク内容	対応概要	今回の 対応
93~102	溜まり水のある トレンチ	<ul style="list-style-type: none"> 津波による建屋滞留水増加により溢水 トレンチ壁の劣化等により地中に漏出 	<ul style="list-style-type: none"> 建屋に接続しているトレンチについては溜まり水点検結果等に基づき、汚染水の漏えいリスクや建屋への水流入リスク、現場状況を勘案し、順次、溜まり水除去・充填の対応を実施。 	対策 実施 中

- 未対応のトレンチについては、滞留水がある建屋に接続しているトレンチ等を中心に、溜まり水の放射性濃度、水量、現場状況を勘案し、下表のトレンチの溜まり水の除去や充填等の対応を実施中。
- 放射性物質濃度 10^3Bq/L レベル以上の滞留水が存在するトレンチについては、2017年度に計画した対応は完了。 10^2Bq/L レベル以下のトレンチについては、1.2号機共通配管ダクト2箇所の部分充填が完了しており、2017年12月より1号機海水配管トレンチの充填を開始した。

◆溜まり水点検結果（滞留水がある建屋に接続しているトレンチ等）（2016.10～2017.1実施）

状況区分	溜まり水の放射性物質濃度(Cs)・区分		2016年度点検結果	2017年度対応状況
溜まり水あり	10^6Bq/L レベル～	A	0	—
	10^5Bq/L レベル	B	0	—
	10^4Bq/L レベル	C	1	・廃棄物処理建屋間連絡ダクト:2017年7月充填完了 (1/1完了)
	10^3Bq/L レベル		2	・1,2号機共通配管ダクト(1号機北側):2017年9月部分充填完了 ・4号機放射性流体用配管ダクト:2017年11月溜まり水の除去完了(2/2完了)
	～ 10^2Bq/L レベル		11	・1,2号機共通配管ダクト(1号機東側):2017年9月部分充填完了 ・1,2号機共通配管ダクト(2号機):2017年7月部分充填完了 ・1号機海水配管トレンチ:2017年12月～充填実施中 ・集中環境施設廃棄物系共通配管ダクト:計画中 (2/11完了)
溜まり水なし		2	—	
調査困難		10	—	
計		26	—	

